昭和26年 2月20日（火曜日） 第224號 磐城毎日新聞 第三種郵便物認可（昭和二十五年十二月六日 國鐵特別承認新聞紙第26號）（一）

磐城毎日

社長 大和田與兵衛
發行所 福島縣平市 15丁目12番地
株式會社 磐城毎日新聞社
編集兼印刷人 遠藤孝倫
發行人
電話（平）一二一〇番
定價1ヶ月50円 1部2円
【夕刊・月曜休刊】

迎歡稿投

敷地に絡む離作料問題

奇怪と見られる暴露記事

專賣公社

二月十八日附いわき民報紙上に「阿部助役の專横暴露」と題し專賣公社平出張所の新築廳舍敷地買收に絡む問題を報道されているがこの問題に關係のある花澤久一郎市議が十七日本社を訪問され「いわき民報に報道されたと同樣の談話を試み本紙上に報道」方を要望されたが本紙では愼重を期し一方的の話によつて直ちに報道する事を避け關係者につき充分調査の上その眞相を極めた後報道する事として調査を進めたがその結果土地交渉委員と稱する側の行動こそ却つて奇怪である事が判明した

權限は當然市當局に

離作料決定の經緯

專賣公社平出張所新廳舍建築敷地の買收、耕作者の離作、整地等は一切平市に委託しそれに對する總經費七百九十萬圓を專賣公社より市に提供し市では委託工事費として市の豫算に計上し昨年十二月十一日開催した定例市議會に追加更正豫算として提出、議會の議決を經たもので阿部助役の取つた處置は執行機關としての豫算の運營であつて何等越權行爲でもなく獨善的の專横でもないものと見られている、しかも離作料反當り二萬五千圓に決定するに至るまでには次の如き經緯が織込まれている

花澤・蛭田、百澤の三氏は專賣公社の鹽或は煙草の販賣業者として公社とは密接な關係にあるのと現地の土地の事情に比較的通じている關係から專賣公社本田出張所長から耕作者に對する離作作料の解決方を依頼されその衝に當つたもので市當局より正式に交渉委員に擧げられたものでない事は明白な事實である而して交渉が進渉せずその成立が危まれていたものである

阿部助役の專斷に非ず

この敷地に充當される耕地て居りその管理は縣の農地耕作者は大部分內郷町居住課に屬して居る關係からその耕作者より離作料の問題の農民でこの耕地は農地法で縣に陳情書を提出するに によつて政府が買收し國有 至つたので縣の澤田農地課となつている土地も含まれ長は實情調査の爲め來平、內郷町の吉田農地委員長を市役所に招ぎ阿部助役と三名協議の上離作料として反當り二萬五千圓を適正なものとの結論に達したのでその解決方を阿部助役に依頼するに至つたが阿部助役は百澤、花澤、蛭田の三氏が折衝していた事を聞知していたので一應三氏の諒解を得た上で解決に當る事を主張したが澤田農地課長と吉田農地委員長の兩氏は三氏をこれに介在せしめる事は解決を困難ならしめる懼れありとし三氏には時後承認を求める事として耕作者側と折衝の上圓滿に解決するに至つたものである

炭勞の鬪爭 澤田妥結

古河更にスト突入延期

常磐炭礦のストを含む斗爭妥結については既報の通りであるが其の後同炭礦と共斗中であつた隅田川は十六日午後四時から十八日午前十時まで二日二晩の徹宵團体交渉の結果坑內四百六十五圓坑外二百六十圓家族手當四百圓更に二十五年七月より十二月までの平均出炭實績の百%の稼働者に對しては生產能率賞與として五百圓一%上昇の度に三十圓最高千圓として支給する事で妥結十八日午後二時調印した、かくて三社のうち古河のみが現在斗爭續行中で十八日午後二時古河勞組は會社側に坑內四百四十圓坑外二百六十圓を要求會社側の責任者伊藤所長は十八日夜本社との打合のため上京したので十九日からのスト突入を四十八時間延長して其の間に會社側の回答を待つ事になつた、若し會社側の案が提示されなければ二十一日よりストに突入する事となつた

火打合の夜の慘劇

四ツ倉町の殺傷事件

十八日午後十時頃四ツ倉町の奇祭火打祭の最中に海岸に於て四倉町仲町高野高重さん方無職佐藤利雄（二九）は同町仲町無職山木秀重（二八）をピストルで打ち三發を發射、二發は腹部に一發は左足に命中したが山木は即死打たれた山木は重傷直に山木を同町木村病院に收容したが重体生命危篤、原因及ピストルの出所等については佐藤は死亡し、山木は生命危篤のため不明であるが賭博に關係があるらしい

不動澤坑の排水終る

三名の屍体收容す

內郷町白水佐々木不動澤炭礦の鑛內出水については既報の通りであるが排水作業が思ふ樣に行かず難行していたが十七日午後十一時漸く排水作業を終り直に佐々木德吉氏加藤哲氏鹿又忠治氏三名の死体を收容した、現場は悲慘をきわめ三名の水死に對しては不慮の死を悼む家族の悲しみがいとど哀を止めている、德吉氏は責任上晝食を半にして入坑したもので不運な同氏の上に一掬の涙を捧げるものである

鹿島の雜貨商に强盜

荒縄で縛り金品强奪

鹿島村走熊小和田に雜貨商小野藤人（五三）さん方え十九日午前零時三十分頃兇器を持つた三人組の强盜が表戸をこじ開けて侵入し妻が騷ぎ立て傭人某（氏名不詳）が外え出ようとしたのを荒縄でしばり上げ更に家人をおどかして金品を强奪逃走した目下手配中なるも犯人の人相着衣は不明である

湯本坑の金ヘン泥

三人組湯本署に擧る

湯本町傾城一三自由勞務者草川信二（七）岩村秀吉（八）佐藤勇二（八）何れも假名は十六日午後六時半頃湯本町常磐炭礦株式會社湯本六坑の試錐倉庫よりバルブフイート外ギアポンプ鉋金等五十二點時價六萬七千圓相當を盜み湯本町湯本上川古物商三浦吉之助（三八）さん方え賣込んだのを十八日午前十時頃湯本町署員に逮捕三名共十九日身柄を送檢された

トンネル內の金ヘン泥頻々

十六日大平山トンネル（泉植田間）內のレールボンド用の銅線盜難については既報の通りであるが更に同大平山トンネル內にてレールボンド用銅線百五本また泉湯本間の內方山トンネル中で六十四本盜まれているのを十八日夜保線區員が發見した

湯本の自由勞務者

ガソリン種に騙取

湯本町關船宿內一二自由勞務者野內貞夫（三七）は一月二十二日同町榮田八牛乳販賣商大平八郎（三四）さんに配達用自動車に使用するガソリンを世話すると稱し三萬五千圓を騙取し十六日湯本署え逮捕された、十九日野內の身柄を送檢した

磐崎村の火事

磐崎村下湯長谷織內精一（四三）さん方物置より十八日午後六時半頃出火し穩居倉庫二棟約二十五坪を全燒した損害原因不明

又も電話線泥

小名濱管內で三百米

小名濱町小名濱電報局管內の電話線が小名濱町富岡地內で三百米盜まれていたのを十八日朝發見した、犯行は十八日午前零時半から七時頃までの間に行われたらしくこの爲泉、植田間の電話が不通となつた、十八日正午復舊したが電話線泥は再三の事とて更に公共事業にも影響するので當局では犯人嚴探中である

平の列車取締り

十九日午前一時二十分平着二一二列車を平鐵道公安室で一齊取締を行ひ無主物四十三個白米五俵を押收した

十九日 晩は北西の風一時強いが良い天氣一時うす雲が擴がりませう

二十日 朝のうち北よりの風日中南よりの風暖かな良い天氣ですが遲くなつてうす雲が擴がりませう

二十一日 南よりの風强く曇りの天氣海上は今晩一時波立ちますが大した事はないでせう

20日～24日（二本建上映）
女左膳
數奇痛快新東寶颯爽時代劇巨篇!!
男裝の麗人川路龍子の女左膳忽ち鬼氣を呼ぶ鍔鳴無刀流の構え
川路龍子 伏見直江
伊豆肇 清川荘司
歌の爆彈
懷しのメロデー集
江川宇禮雄 香川京子
夜の緋牡丹
上映中
平文化

大臣賞授賞
アメリカで大好評!!!
國產始めての素晴らしい照明
輕くて堅らうな
トヨダミシン
輸出特級品
トヨダミシン 特約代理店
シンガーミシン 元平營業所
平市二丁目
ミシン
石川商會
（ひ向合組用信平）
電一二三二番

和洋輕食
と
茂登
と
女
支那理料
出前迅速
平市仲田町 電二〇四

磐城名產
鰹節
鹽辛
皆樣の魚店
丸市屋
平市四丁目
電話二一三番

21日～25日
唇には唇を劍には劍を
五千年のヴエイルに包まれた
妖都バグダツトに捲き起る戀と
冒險のスリル！
バグダツド
ユニヴアサルの特作總天然色映畫
主 モーリーン オハラ
演 ポール クリスチヤン（新星生）
聚樂館

民族の英雄 (2)

中國の北の方では、ウマやロバの背で物を運ぶがこちらでは、クリークからクリークへと、舟で運ぶのだ 日本の村とちがう所といえば、あのウシも、何んだかまるでちがうでないか?、そうだあれは水牛というやつだ、あいつは、普通のウシよりとても力はつよいしよく働く。

このあたりは、中國でも有名な米の產地だ、反あたり生產量も高い、中國本部東北中國、モンゴル、チベット、中國トルキスタンなどを除いた中國、の米の產額を五とすると、このフウナ省に、フウベイ(湖北)ジアンシイ(江西)を加えた三省がその中の二にあたるだけの米を出している、またその二のなかで、フウナ省が半分を出している、そういうふうに、米のよく出來る地方なのだ。

そんなに、米が良く出來るならば、百姓はみんな樂々と、暮していただろうか解放軍が解放したので、今後はそうなる、だが反動の支配していた時代では、そうではなかつた、地主の土地を借りて米を作ると、できた米の六割を地主が取り四割が小作の手に殘る、その四割も、稅金や借金で、たいてい裸にされてしまうこういうのが、多くの百姓の實情だつた、それが皇帝(滿州族)の支配していた時代には、もつとひどかつた

マオ、ツオトンは皇帝時代、こういうふうな貧しい貧しい、百姓の家に生れたそれは一八九三年だから、皇帝が廢止されるようになる十八年前の事だ。

マオ、ツオトンの父、マオ、レシヨン(毛仁生)は、借金がかさんで、土地を取り上げられ、仕方なく、長い間だ兵隊に行つていたくらいだ、じつさい、このあたりはよく米もできるけれども、洪水も多い、洪水で米がよく取れないと、たいていの百姓は、みな大きな地主に米を借りる、それが借金となつて、やがては持つていた自分の田畑も、その代りに取り上げられるというような場合が、非常に多い、マオのお父さんが、兵隊に行つたというのは、よほど困つたからにちがいない、中國の古いことわざによい鐵は、くぎにはならぬ、良い人は兵隊にはならぬ、という、なか〳〵面白いことわざが有る。 續く

時局講演會の開催日時決定

廿日湯本、廿一日平市

既報の通り外務省では朝鮮動亂以來國際情勢の緊迫に鑑み殊に對日講和を目前に控え國民に對し時局特に國際情勢について正しい認識を與え種々の憶測による民心の動搖を防ぐ爲め全國各地で時局講演會を開催する事となつたが當地方は思想的にも重要視されているので平市のみならず炭礦地帶である湯本町に於ても開催する事に決定した主催は縣地方事務所、平市及湯本町で講師は外務省政務局外務事務官高島益郎氏で會場及開催日時は次の通りで多數來聽を望んでいる

▲二月二十日午後一時湯本小學校

▲同二十一日午後一時平市公會堂本館

小名濱の主食卸機關

登錄は三本建の模樣

小名濱町食糧卸機關えの登錄は十五日より開始したが其選定に付一本建で進むべき性質のものが遂に三本建ての三機關に登錄する事になる模樣である、舊來からの公團關係者は、常磐炭礦を背景とする地區的卸機關で進む事となり舊業者で今回初めて小賣登錄した業者は當初公團關係者に合流するものと豫想されたがこれは農協縣連の卸機關に寄る事となる、更らに公團關係にあつた二、三有志が福島縣食糧卸株式會社に進まんとする傾向を示し玆に三本建ての機關に依る事となつた模樣である、處で消費者側としては町全体が一本建ての卸機關に依るとすれば從來の通り配給所の模樣も我慢せねばならない結果となるが、三本建でで進む場合はサービスも自然競爭狀態となるから却つて新味が判つて來る、三本建でで進む事が何よりだと消費者側からも登錄後の動きを注目されて居る

小名濱第一小校 恒例の學藝會

小名濱町第一小校では恒例に依つて十三日午前九時半より講堂に於て綜合學習發表會(學藝會)を開催した、學藝會も時代の變遷に伴い其仕組が根本から變つて來たが、藝、能、二つながら智情意の働きが織り込んだものだけに父兄側の來觀者に非常な感興を與へ兒童の眞の童心をつかむ事が容易であると云うので年々參觀者も非常に多く家庭と學校の連絡が一層緊密となるので會員の活動と一致し益々藝能を高揚する事に役立つものと喜ばれて居る

小名濱中校の卒業者

高校進學は二三三名

小名濱町立中學校では本年卒業者五三一名を出す事となつて居るが、內高校に進學希望のものは二三三名である殘る約三百名に對し學校側でも就職を積極的に斡旋して居る、これが爲め內七、八十名位は就職も可能と見られ、更に百二三十名に對しても平職業安定所の職員を招いて就職希望の父兄と懇談をしようとの案もあり何れも父兄から喜ばれて居る、尙上級學校進學希望者は次の通りである

磐城高校二八名、磐女高校二四名、平工高校一九名、平商高校一六名、小名濱高校一二四名、水產高校二一名、湯本高校一名

濱通り將棋選手權大會

讀賣新聞社主催第三回東北將棋名人大會濱通方部選選を兼ね濱通選手權大會は平將棋互樂會、讀賣新聞社共催で次の要項によつて開催されるが當日は平市會議長寄贈の優勝カップの爭奪戰も行う同好者の參加方を希望している

□日時、二月二十五日(第四日曜)午前十時より

□場所、市內五丁目平將棋互樂會

□競技方法、總平手四人一組としリーグ戰で三勝したものでトーナメントを行う

□選拔、豫選で優勝したものが縣大會に出場する

□賞品、平市會議長、石城地方事務所長、釜屋賞、及讀賣新聞社賞狀並にメタル(五等まで)

□會費百圓

小名濱の吹雪

小名濱町が工場誘致運動が愈々功を奏し後から後と工場建設が申込んで來て居るビニロン工場が、誘致運動する後から東洋木材防腐株式會社の工場建設の申込みあり、更に日發の火力發電所の建設の調査班が乘りこみ亦日本紡績會社が又建設と云ふ話もあると云ふ問題が飛び出して來た、こうなると小名濱町もどうなるだろう、之れが有卦に這入つたと云ふものであらう、然し右から左工場建設が出來るとせばそれこそ大變な事になるか、其取捨選澤がむづかしい其處でこの棚ボタ的な工場建設がどう扱ふべきであるかを研究せねばならない、町民の一部では運動を要せないで建設を申込んで來る企業家もある徒らに町費をかけて運動する必要がない運と果報は寢て待つべしだと云ふ諺もあるからだと、果してこうだとすると運動は全く必要がない事になるが是れが甚しい矛盾である、小名濱町を工場適切な地帶として狙つて來る原因は、之れまで既に誘致の爲めに運動を續けた其努力が初めて實を結んだもので決して寢ては果報が來ない、努力こそ果報を持つ原因であると云ふ眞理を辨へねばならない、故に益々誘致運動を强化せねばならい、水野町長が能くこの眞理をとらへ、積極的に運動を續けて行こうと云ふ事は尤も意味が深い構想である三萬町民はよろしくこの意を諒として誘致運動に邁進すべきものである事を强調せねばならない

コロンビアが贈る豪華歌の花束

割引百圓券換票

磐城毎日新聞社

撮影希望歌手氏名 例いば青い山脈の奈良光枝

氏名

申込者住所

氏名

右之通り五拾圓也添付申込みます（一枚）

御不審御不明の點は本社若くわ當日本社々員が腕章をして場內に居りますからお尋ね下さい

切取線

コロンビアが舊正に贈る豪華唄の花束

▲シベリヤエレジー・佐々木小次郎の伊藤久男

▲霧の港・初戀の二葉あき子

▲唄つて踊るタップの女王姫宮接子

▲港の戀唄鶴田六郎

▲雨に泣く夜安藤まり子

▲ベツサメムーチョ黒木曜子

▲青い山脈・三ツの結婚奈良光枝

特別出演 オコサ節 炭坑節 久保幸枝

トンコ節

本社とコロンビアが提唱讀者割引券進呈

日時 2月20日舊正15日 場所 平市公會堂 主催 合津勝己 後援 コロンビア 磐城毎日

本紙は自由に購讀出來ます

本日は特別會場玄關口にて申込を受けております

郷土のための郷土住人による郷土紙として常に精進するわが磐城毎日新聞社は、特に本年一月平地區警察署前(十五丁目)へ堂々總二階建新社屋建設以來鋭意內容充實改善につとめ愛讀者諸氏の絕大なる御後援に報ひ近く發刊一周年を迎へることとなりました、その喜びを讀者各位とともに頒つ可く聊かの贈りものとして本社新企畫のもとに隨次愛讀者へ福引券並びに、割引券を進呈しその他多種多催な行事を催したいと念願いたして居ります取敢ず來る二十日平市公會堂で晝夜二回に亘つて開催されるコロンビアレコード專屬の大メンバーが來平されるのを機會に主催者側、並びにコロンビアと特に提携し割引券を進呈した外希望歌手と一諸に撮影し實費で何枚でも希望數だけ配布することを確約致し左記要領によつて行ひます奮つて御參加下さい

愛讀者二百名限り先着順に割引券を進呈いたします

本日付 夕刊に刷込の引換券を持參し二十日午前九時から本社前(平地區署前)にて先着順二百名まで割引(百圓券)を差上げます二百名に達しないうちお早くお出で下さい

希望歌手と記念撮影

御希望者の方は百名だけ本紙購讀者のみ割引券引換と同樣上記の樣式で御申込みになれば申込數だけ(キャビネ版)を實費で差上げます

當日は晝夜とも相當混雜が豫想されていますので締切後の撮影の申込は如何なる理由があつてもお斷り申上げます